

湊小だより



平成31年（2019年）2月号

湊小学校 校長 戸川 定昭

3学期もがんばってます！

3学期が始まり、ほぼひと月が過ぎようとしています。4年生で、インフルエンザが流行し、1月16日～18日、学年閉鎖を実施しましたが、その後、すっかりよくなり、元気に登校しています。

大休憩や、昼休憩では、多くの子供たちは、元気に校庭に飛び出し、縄跳びをしたり、サッカーをしたりしています。遊びの中から、気力や体力が養われていく様子を見ていて、本当にたくましく思います。

去る、1月17日、休憩時間に地震が起こった場合を想定した避難訓練を幼稚園と合同で実施しました。休憩時間中は、それぞれ違う場所にいるので、どう行動するか、自分で判断しなければなりません。教室にいる場合は、机の下に身を寄せる、運動場にいる場合は、校舎や体育館から離れた中央付近に移動し、姿勢を低くして、揺れがおさまるのを待ちます。その後、全員、運動場に集合し、津波が来ると予想される時は、校舎の3階に避難します。訓練を通して、少しでも落ち着いて、一連の避難行動がとれるよう取り組んでいます。

湊太鼓の引き継ぎが始まる！

湊太鼓の引き継ぎが始まりました。6年生が、パートごとにマンツーマンで5年生に指導しています。教える6年生も真剣ですが、教わる5年生も真剣そのものです。6年生を送る集会（2月28日）で、5年生が6年生から引き継いだ湊太鼓を初披露するそうです。楽しみです。

新学習指導要領の実施に向けて

平成32年度から小学校では、新学習指導要領がスタートします。今後益々グローバル化する中で世界と向き合うことが求められている我が国において、日本人としての美德やよさを備えつつグローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力の育成が求められます。言語や文化に対する理解を深め、国語で理解したり表現したりすることや、さらには外国語を使って理解したり表現したりできるようにすることが必要となります。これらの考えのもと、新指導要領では、5、6年生の外国語活動が、年間70時間の外国語科に、3、4年生は、年間35時間の外国語活動の授業が実施されます。移行期間として、和歌山市のすべての小学校で、来年度から前倒しで、新指導要領に即した外国語の授業を行います。

外国語（英語）を実際のコミュニケーションの場面で使えるようにするには、知識を活用する力が必要となります。例えば、**Do you have a pen?** の意味が、「ペンを持っていますか。」と知識としてわかるだけでなく、話し手の意図を理解する能力が必要です。ペンを持っていない人が、上記の英文を言った場合、「ペンを貸してあげませんか」という意味になり、ペンを持っている人が、ペンを持っていない人に言った場合は、「ペンを貸してあげましょうか」という意味になります。知識を実際の場面で活用する能力を身につけることは、外国語だけでなく、新学習指導要領では、すべての教科で求められています。

新学習指導要領実施に向け、授業改善を図りながら、準備を進めていきます。

